

2025 年 10 月 31 日

各 位

AGF 基軸による、ビットコイン・ゴールドを活用した インフレアセット・トレジャリー戦略の推進について

～本戦略の一環として、実物資産（ゴールド）の取得も開始！～

当社は、暗号資産およびゴールド現物資産を用いた新たなトレジャリー戦略「インフレアセット・トレジャリー戦略」を策定・推進いたします。

本戦略では、当社が関与するトークンである AGF（Nyanmaru GOLD Utility Token）を基軸通貨としつつ、ビットコイン（BTC）とゴールド（現物金）という 2 つの価値保存資産を核に据え、さらに RWA（Real World Asset：現実資産のトークン化）を組み合わせた構成となっております。

1. 戦略策定の背景

当社では、暗号資産および現物資産を用いた中長期的な資本政策の強化を目的に、「インフレアセット・トレジャリー戦略」の策定を決定いたしました。

本戦略では、インフレ耐性資産として評価されるビットコインおよびゴールドをトレジャリー資産の柱とし、さらに RWA の実装・連携も視野に入れることで、立体的なアセットマネジメント構造の構築を目指します。

また、本戦略は立案・公表してきた戦略構想の延長線上にあるものであり、それらを統合的かつ発展的に位置付けたものでもあります。

戦略名称	主体アセット	主目的
ハイブリッドトレジャリー戦略	株式+BTC+ミーム資産	CSE 系資本との連携・短期収益構造の強化
ゴールドアセット戦略	ゴールド+AGF	AGF への資産裏付け・トークン信任性の強化
インフレアセット戦略（本件）	ゴールド+BTC+AGF+RWA	財務全体のインフレ耐性・多層的安定性

2. ゴールドの取得と AGF・Wowoo 社との連携

当社は、本戦略の一環として、本日付で約 890 万円相当のゴールドの現物を戦略的アセットとして、新たに取得いたしました。本資産は、単なる保有資産としての役割にとどまらず、以下のような中長期的な活用構想の中核アセットとして位置づけております。

① AGF トークンとの連携構想

取得したゴールドの一部については、当社が関与する AGF プロジェクト側に対して提供（預託）することを想定しており、その対価として AGF トークンを取得するスキームの構築を、現在関係各所と協議しております。このような「リアルアセット → トークン化資産」への交換モデルにより、AGF の資産裏付け性を強化し、その信頼性および流通基盤の拡充を図ることを企図しています。

② Wowoo 社との連携可能性

また、当社が今後取得を見込む AGF トークンについては、シンガポール法人 WOWOO PTE. LTD. との間で、Web3 領域における活用可能性の検討を行っております。Wowoo 社が推進する NFT、DAO、分散型資産管理などのユースケースにおいて、AGF のトークンとしての実用性が期待されており、「資産裏付け型トークン」の社会実装に向けた具体的な検討を進めております。

この流れにより、「**ゴールド現物 → AGF 取得 → Web3 実需**」という循環型アセット運用モデルの確立を目指してまいります。



3. BTC と Gold によるリバランス

ビットコインとゴールドはいずれもインフレヘッジ資産として評価されておりますが、近年では異なる経済サイクルで価格変動する傾向が強まっており、適切なリバランスが可能なアセットクラスとなっています。



(参考：Bitcoin 価格の Gold 建てチャート)

当社では、こうした特性を活用し、以下のような運用戦略を検討しております：

- BTC ロング・Gold ショート
- BTC ショート・Gold ロング

このような動的リバランス戦略により、単なる「分散保有」では得られない、アクティブなリターン追求とリスク低減の両立を目指します。

4. ゴールドおよびビットコインの保有方針について

当社では、トレジャリーアセットとしての役割を担う資産群として、ゴールドおよびビットコインの戦略的保有を段階的に進める方針です。

- ゴールド： 現物資産として、取得稟議を起案中。保全性・交換性を重視。
- ビットコイン： インフレヘッジ資産として、既に一部保有済。

時価ベースでリスクを分散。



5. 今後の展開

本戦略に関連し、以下のような具体的取り組みについて、社内検討および関係各所との協議を順次進めてまいります。

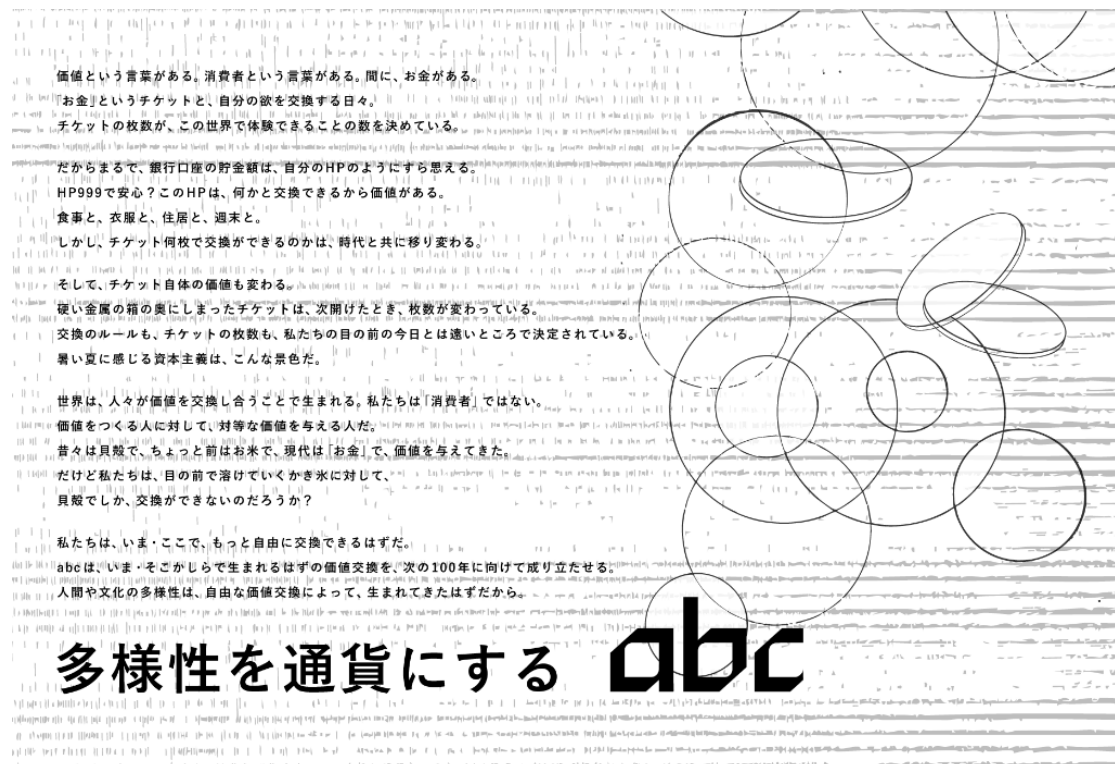
- ビットコインおよびゴールドを用いたリバランス運用の設計
市場環境や価格変動特性を踏まえ、自社に最適なアセット配分モデルの構築を検討中です。
- 不動産やアートなどの RWA 資産との連動による AGF トークン活用拡張
AGF を基軸に、現実資産との交換性・担保性の設計を模索しており、AGF の価値基盤の多様化を目指します。
- 保有アセットの開示とメディア戦略による透明性強化
ゴールド現物、BTC 保有状況、トークン運用の開示方針を整備し、投資家・株主に対する資産保全力の訴求を行っていきます。

これらを通じて、グローバル基準のトレジャリー構造と、資本市場における独自の存在感の確立を目指してまいります。

なお、本件が当社連結業績に与える影響は軽微です。

※本リリースは情報開示を目的としており、暗号資産の購入や売却を勧誘するものではありません。

※記載された時点での情報に基づいており、今後の運営方針や仕様は変更となる可能性があります。



価値という言葉がある。消費者という言葉がある。間に、お金がある。

「お金」というチケットと、自分の欲を交換する日々。

チケットの枚数が、この世界で体験できることの数を決めている。

だからまるで、銀行口座の貯金額は、自分のHPのようにすら思える。

HP999で安心？このHPは、何かと交換できるから価値がある。

食事と、衣服と、住居と、週末と。

しかし、チケット何枚で交換ができるのかは、時代と共に移り変わる。

そして、チケット自体の価値も変わる。

硬い金属の箱の奥にしまったチケットは、次開けたとき、枚数が変わっている。

交換のルールも、チケットの枚数も、私たちの目の前の今日とは違うところで決定されている。

暑い夏に感じる資本主義は、こんな景色だ。

世界は、人々が価値を交換し合うことで生まれる。私たちは「消費者」ではない。

価値をつくる人に対して、対等な価値を与える人だ。

昔々は貝殻で、ちよつと前はお米で、現代は「お金」で、価値を与えてきた。

だけど私たちは、目の前で溶けていくお米に対して、

貝殻でしか、交換ができないのだろうか？

私たちは、いま、ここで、もっと自由に交換できるはずだ。

abcは、いま、そこらで生まれるはずの価値交換を、次の100年に向けて成り立たせる。

人間や文化の多様性は、自由な価値交換によって、生まれてきたはずだから。

多様性を通貨にする abc

■ abc 株式会社について <https://www.gfa.co.jp/>

abc は「多様性を通貨にする」を掲げます。私たちのアイデンティティであり、北極星であるこの言葉は、未来社会への約束です。私たちはこの言葉を、経営、事業、クリエイティブの判断軸とすることで、Web3 技術を核とした通貨の専門集団として、従来の金融システムの枠組みに捉われない「善いことをした人が得をする世界」を目指します。

abc のグループ企業ネットワークにも「Tokenizing by abc」をブランド表記として加え、各事業と一体で示すことで、統一的なブランドマネジメントを通じて、グループ全体として多様性を通貨にし、新しい価値交換システムを提供していきます。

所在地：東京都港区赤坂四丁目 9 番 17 号 赤坂第一ビル 11 階

代表者：代表取締役 松田 元

事業内容：企業・ファンド等への投資、投資先支援、不動産関連事業、暗号資産関連事業

《本件に関するお問い合わせ先》

abc 株式会社 経営企画部

pr@abc-chain.com

以上